

【Ⅱ 調査結果の概要（従業者4人以上の事業所）】

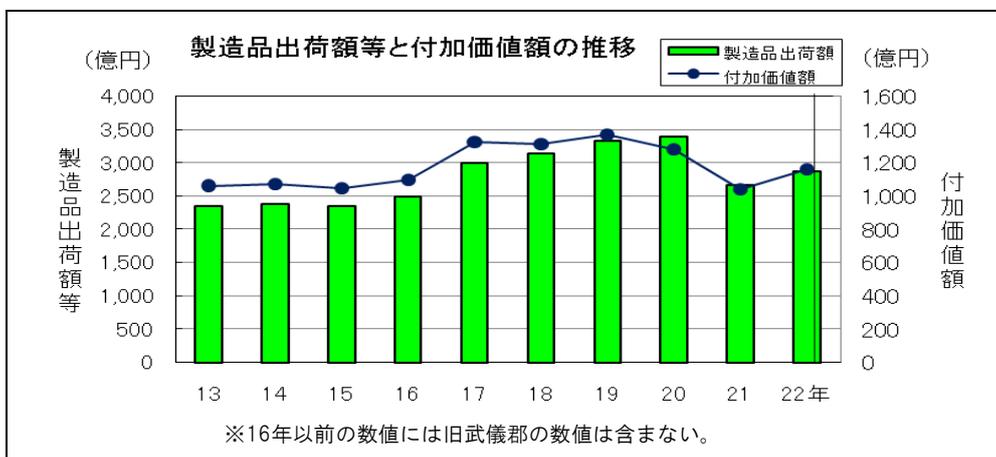
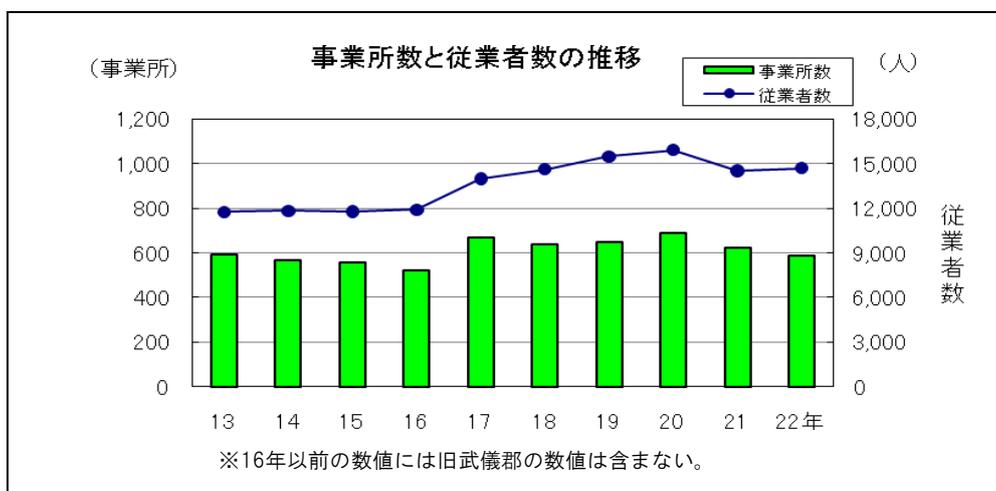
1 概況

事業所数	589事業所	(前年比△5.8%、36事業所減)
従業者数	14,719人	(同 1.2%、177人増)
製造品出荷額等	2,865億1,116万円	(同 7.4%、198億801万円増)
付加価値額	1,160億7,045万円	(同 11.7%、121億8,893万円増)

主要項目の推移

区分	事業所数		従業者数			製造品出荷額等			付加価値額			
	前年比	17年=100	人	前年比	17年=100	万円	前年比	17年=100	万円	前年比	17年=100	
平成	%	%		%	%		%	%		%	%	
13	596	△ 2.5	88.7	11,762	5.4	84.0	23,430,379	2.5	78.5	10,602,919	△ 3.6	80.1
14	568	△ 4.7	84.5	11,844	0.7	84.6	23,757,255	1.4	79.6	10,713,927	1.0	81.0
15	560	△ 1.4	83.3	11,793	△ 0.4	84.2	23,412,078	△ 1.5	78.4	10,452,420	△ 2.4	79.0
16	526	△ 6.1	78.3	11,880	0.7	84.9	24,897,970	6.3	83.4	10,976,304	5.0	82.9
17	672	27.8	100.0	14,001	17.9	100.0	29,847,039	19.9	100.0	13,234,308	20.6	100.0
18	643	△ 4.3	95.7	14,659	4.7	104.7	31,388,145	5.2	105.2	13,133,637	△ 0.8	99.2
19	651	1.2	96.9	15,515	5.8	110.8	33,255,933	6.0	111.4	13,693,687	4.3	103.5
20	690	6.0	102.7	15,936	2.7	113.8	33,901,599	1.9	113.6	12,805,508	△ 6.5	96.8
21	625	△ 9.4	93.0	14,542	△ 8.7	103.9	26,670,315	△ 21.3	89.4	10,388,152	△ 18.9	78.5
22	589	△ 5.8	87.6	14,719	1.2	105.1	28,651,116	7.4	96.0	11,607,045	11.7	87.7

注) 平成16年以前の数値には旧武儀郡の数値は含まない。



2 事業所数

～前回に続き減少～

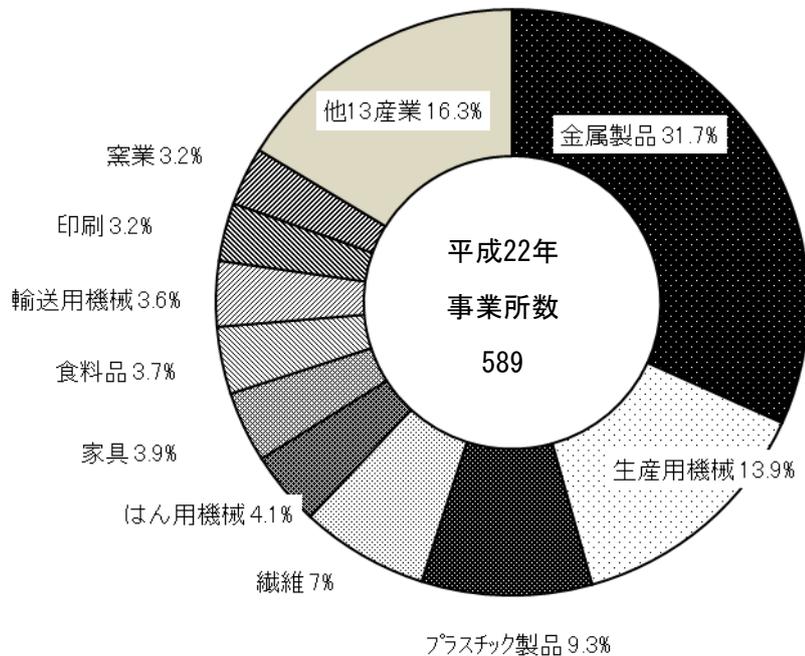
事業所は589事業所で、前年に比べ36事業所（前年比△5.8%）減少している。

産業別にみると、増加したのは、はん用機械器具製造業など3産業である。一方、減少したのは、金属製品製造業など9産業となっている。

また、従業者規模別にみると、特に4～9人事業所で大きく減少している。

産業別構成比…①金属製品製造業	187事業所	31.7%
②生産用機械器具製造業	82事業所	13.9%
③プラスチック製品製造業	55事業所	9.3%
増加産業…①はん用機械器具製造業	1事業所	
(増減値) ①電気機械器具製造業	1事業所	
減少産業…①金属製品製造業	△22事業所	
(増減値) ②生産用機械器具製造業	△4事業所	
③繊維工業	△3事業所	
③木材・木製品製造業	△3事業所	

事業所数の産業別構成



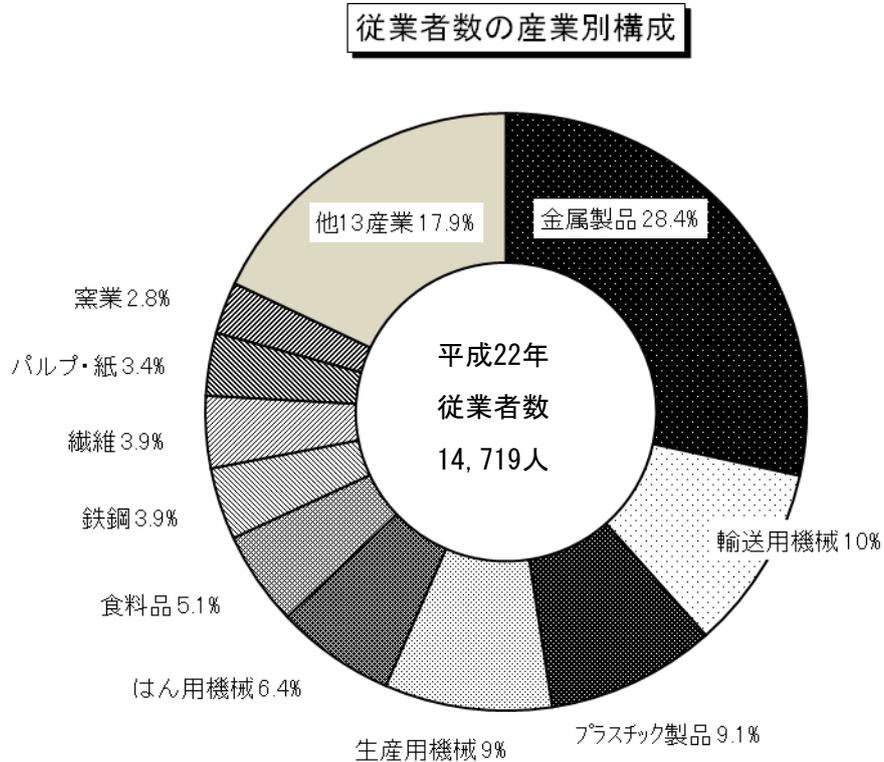
3 従業者数

従業者数は14,719人で、前年に比べ177人（前年比1.2%）増加している。

産業別にみると、増加したのは、輸送用機械器具製造業など13産業である。一方、減少した産業は、金属製品製造業など9産業である。

また、従業者規模別にみると、50～99人事業所で大きく増加した。一方、小規模事業所（19人以下）では減少した。

産業別構成比…①金属製品製造業	4,174人	28.4%
②輸送用機械器具製造業	1,472人	10.0%
③プラスチック製品製造業	1,344人	9.1%
増加産業…①輸送用機械器具製造業	292人	
（増減値）②ゴム製品製造業	224人	
③はん用機械器具製造業	101人	
減少産業…①金属製品製造業	△167人	
（増減値）②業務用機械器具製造業	△159人	
③プラスチック製品製造業	△146人	



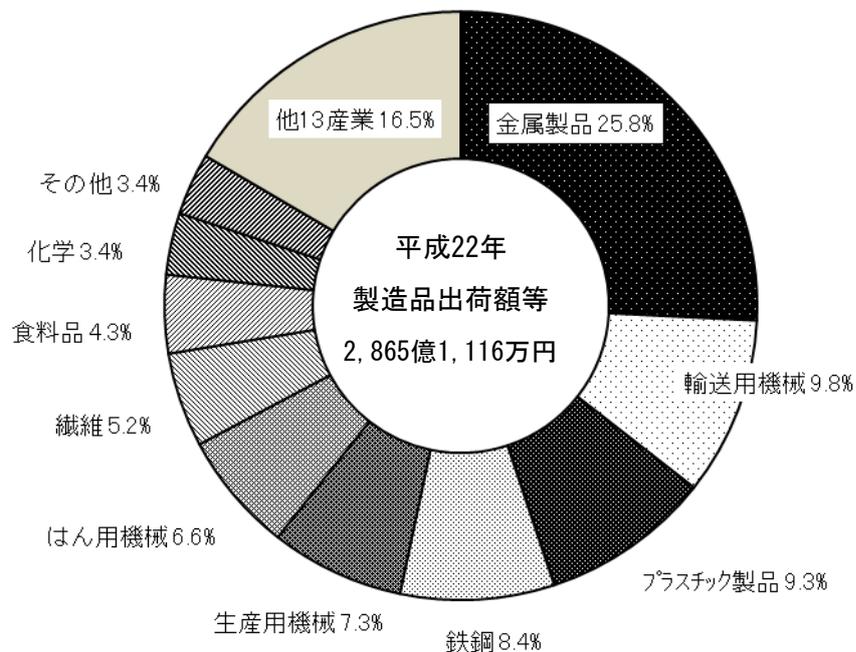
4 製造品出荷額等

製造品出荷額等は、2,865億1,116万円で、前年に比べ198億801万円(前年比7.4%)増加している。

産業別にみると、増加したのは鉄鋼業など15産業である。一方、減少したのはプラスチック製品製造業など9産業である。

産業別構成比…①鉄鋼業	739億1,260万円	25.8%
②輸送用機械器具製造業	282億1,167万円	9.8%
③プラスチック製品製造業	267億 196万円	9.3%
増加産業…①鉄鋼業	58億3,266万円	
(増減値) ②金属製品製造業	58億3,198万円	
③ゴム製品製造業	54億7,534万円	
減少産業…①プラスチック製品製造業	△32億6,219万円	
(増減値) ②業務用機械器具製造業	△27億7,161万円	
③窯業・土石製品製造業	△15億2,776万円	

製造品出荷額等の産業別構成



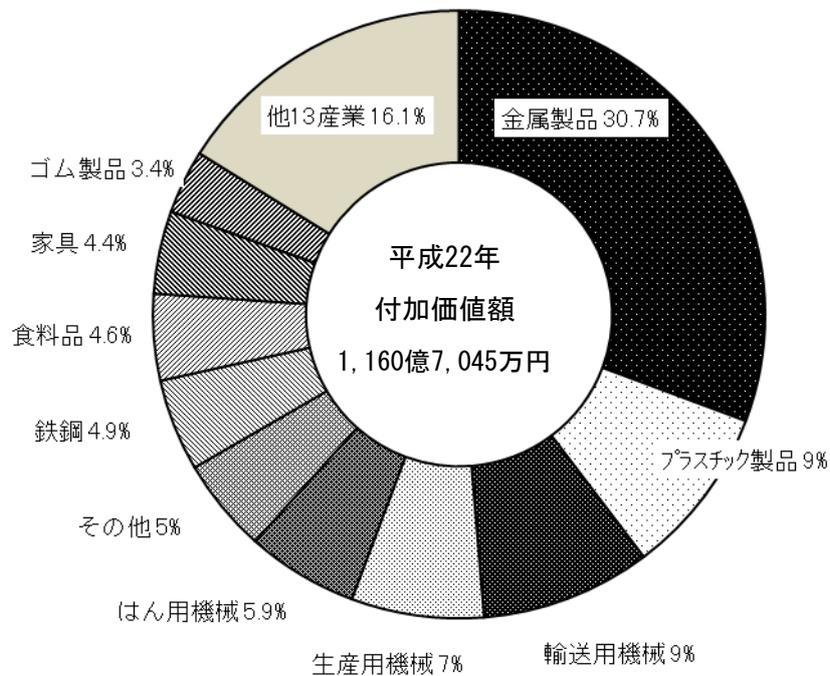
5 付加価値額

付加価値額は、1,160億7,045万円で、前年に比べ121億8,893万円（前年比11.7%）増加している。

産業別にみると、増加したのは金属製品製造業など14産業である。一方、減少したのはプラスチック製品製造業など10産業であった。

産業別構成比…①金属製品製造業	356億9,044万円	30.7%
②プラスチック製品製造業	104億6,294万円	9.0%
③輸送用機械器具製造業	104億2,688万円	9.0%
増加産業…①金属製品製造業	37億4,098万円	
（増減値）②輸送用機械器具製造業	33億9,745万円	
③ゴム製品製造業	33億4,628万円	
減少産業…①プラスチック製品製造業	△10億1,099万円	
（増減値）②業務用機械器具製造業	△8億8,936万円	
③窯業・土石製品製造業	△8億4,024万円	

付加価値額の産業別構成



6 生産性

労働生産性（従業者1人当たりの製造品出荷額等）は、平均1,947万円となり、前年に比べ113万円（前年比6.2%）増加した。また、付加価値生産性（従業者1人当たりの付加価値額）は、平均789万円となり、前年に比べ75万円（同10.5%）増加した。

産業別に前年と比較すると、労働生産性は、鉄鋼業など12産業で増加し、窯業・土石製品製造業など12産業で減少した。また、平均より高いのは、鉄鋼業など10産業、一方低いのは、情報通信機械器具製造業など14産業となっている。

付加価値生産性は、ゴム製品製造業など15産業で増加し、電子部品・デバイス・電子回路製造業など9産業で減少した。平均より高いのは、家具・装備品製造業など8産業、一方低いのは、なめし革・同製品・毛皮製造業など16産業となっている。

7 産業別製造業の生産

～基礎素材型産業が54.8%を占める～

製造業がどのようなものを製造しているのか、製造業を大きく3つの産業型に分け、それぞれの事業所数の相対的な割合を見ると、基礎素材型産業が54.8%、加工組立型産業が24.4%、生活関連・その他型産業が20.7%となっており、前年比べると加工組立型産業が0.7ポイント、生活関連・その他型産業が0.4ポイント増加している。

岐阜県全体では、基礎素材型産業が45.3%、加工組立型産業が22.9%、生活関連・その他型産業が31.7%となり、関市は基礎素材型産業の占める割合が高くなっている一方、生活関連・その他型産業の割合が低くなっている。

8 21市の状況

～関市の事業所数2位、従業者数3位、製造品出荷額等5位、付加価値額4位～

[事業所数]

関市の事業所数は、岐阜市に次いで2番目に多い。

岐阜県全体では6,528事業所で、前年に比べ304事業所（前年比△4.4%）減少した。21市のうち飛騨市を除いてすべてで減少となり、最も減少数が多かったのは岐阜市で47事業所の減、次いで土岐市、関市は3番目に減少数が多かった。

[従業者数]

従業者数は、関市など11市で増加したが、大垣市など10市で減少し、岐阜県全体では883人（前年比0.5%）増加した。

[製造品出荷額等]

製造品出荷額等は、関市など15市で増加したが、美濃加茂市など6市で減少し、岐阜県全体では2,584億円（前年比5.7%）増加した。

[付加価値額]

付加価値額は、関市など15市で増加したが、美濃加茂市など6市で減少し、岐阜県全体では1,648億円（前年比10.1%）増加した。